

玉村町教育委員会点検・評価報告書【概要版】令和3年度対象

＜学校教育のめざす子供像＞
 確かな力を身に付け 心豊かに たくましく生きぬく子供
 ～幼小中12年間を見通した学校教育の充実～

＜令和3年度 教育行政方針＞

＜生涯教育のめざす人間像＞
 学ぶ喜びを味わい 自己を磨き 豊かに生きようとする人
 ～生きがいと絆をつくる生涯学習の推進～

重点1 「自立する力」と「共生する力」を育む教育活動の充実

他校と連携した英語教育の実施

南小学校ではフェリーチェ玉村国際小学校とオンラインでつなぎ、南小児童の英語プレゼンテーション発表を行いました。玉村小学校では県立女子大学の外国語教育研究所の外国人研究員や国際コミュニケーション学部の学生を招き、グループごとに英語プレゼンテーション発表を行いました。どちらも、普段の友達とは違う相手にしっかり伝わる英語表現をしようとする様子が見られました。また、相手が問いかけに答えてくれたり、



感想を伝えてくれたりと、対話的なコミュニケーションが活発に行われていました。

一人一台端末の活用充実

令和3年度は一人一台のタブレット端末の活用が各学校で進んできました。授業ではタブレット端末に自分の考えを表して友達と伝え合ったり、他の学校とオンラインでつないで交流を図ったりする取組が行われました。また、学校と家庭をつないで授業や健康観察を行う取組もありました。タブレット端末を学習道具の一つとして使いこなし、子供たちが自分の力を伸ばして

いけるよう、今後も支援を行っていきます。



夢叶える教育のまち たまむら

令和3年度 玉村町の教育 玉村町教育委員会 (教育行政方針)

令和3年度方針
教育の原点を見つめ、本質を見極めた改革
 セルフマネジメント力 (自己を見つめ、夢や目標を持ち、実現に向けて行動する力) → 『自立』 → 自己実現
 『共生』

＜学校教育の重点＞ 幼小中12年間を見通した学校教育の充実
 ＜生涯学習の重点＞ 生きがいと絆をつくる生涯学習の推進

＜学校教育の目指す子供像＞ 確かな学力を身に付け 心豊かに たくましく 生きぬく子供
 ＜生涯学習の目指す人間像＞ 学ぶ喜びを味わい 自己を磨き 豊かに 生きようとする人

＜第6次総合計画＞
 目指す将来像 暮らしなら、ここがいい 教育に関する重点目標 「わざわい」から生命と財産をまもる 元気に年を重ねられる町をつくる 子どもを育て未来をつくる 玉村の良さを次世代につなぐ

＜玉村町教育大綱・玉村町教育振興基本計画＞
 基本理念
 ○ 全ての町民が夢と希望をもって理想を追求することができるよう、社会の変化に対応した教育を実施する。
 ○ 家庭・学校・地域がそれぞれの役割を果たし、相互に連携・協働した教育を実施する。
 基本方針
 全ての教育(家庭教育・学校教育・社会教育等を含む)において
 ○ 「生きる力」を育み、社会の変化に主体的に対応できる人を育成する。
 ○ 一人一人が生涯活躍できるよう、自己を磨き、共に学ぶ環境をつくる。

重点1 生涯学習の推進 家庭教育「親子キャンプ講座」

子育て中の保護者とその子どもを対象に、作業や体験を通して親子の関わり、保護者の学びや保護者同士の交流の機会を創出し、家庭教育支援をするための親子キャンプ講座を開催しました。焚火のおこし方やテントの張り方など、親子で作業・体験をする事で、親子のふれあいや会話の時間ができました。母親だけでなく、たくさんの父親にも参加していただき、父親が子育てに関わるきっかけができた充実した講座となりました。



重点2 公民館講座の充実

「こどもイングリッシュクラブ」

少年少女教室の一つとして、県立女子大学の学生ボランティアを講師に迎え、「こどもイングリッシュクラブ 英語で読もう14ひきのかぼちゃ」を実施しました。英語版絵本を4回の講座で読み切りました。子ども達は、絵本を通して英文の意味や正しい発音の仕方などを学びました。また、学生ボランティアさんには、絵本の選定から協力していただき、英単語カードを使ったゲーム形式など、子どもたちが楽しく学べる工夫をたくさんしていただきました。



重点3 文化財・地域資源活用の推進

ミニ企画展「昔の道具展」

小学校3年生の社会科授業「古い道具と昔の暮らし」と連携した展示です。今回の展示テーマは「家と学校の道具たち」です。管内小学校の3年生が見学し、学習の一端を担うことができました。児童たちは昔の道具を観察し、気になった道具をスケッチしました。児童にとっては初めて出会う道具も、高齢者にとっては懐かしいものであり、多くの高齢者の見学がありました。

あわせて「昔の道具総選挙！」を開催しました。



重点2 地域とともにある学校づくり

未来へつなぐ子ども議会

各小中学校から2名ずつ子ども議員を選出し、役場各課長に一般質問をしました。今年度は、玉村町の現状を聞くだけでなく、どうしたらよりよい玉村町になるかを、子どもたちの視点から考えた提案型の質問をしました。子どもたちの真剣な姿から、未来へつながる素晴らしい子ども議会となりました。

たまむらMANABIパートナーシップ

県立女子大学と学校教育課で、「たまむらMANABIパートナーシップ」を締結いたしました。学習ボランティアやICT補助員、就学時検診ボランティア、日本語教育指導支援員、授業支援等、様々な場面で学生ボランティアさんに活躍していただきました。その姿が子どもたちにとってのお手本であり、目指すべき姿となっていて、子どもたちの学びや生活が豊かになっています。



重点3 教育環境の充実・整備

自動水栓付き車いす用洗面台の設置

特別支援教育拠点校である上陽小学校において、廊下の流しを改修しました。車いす利用の児童が安心して学校活動を行えるよう環境整備を図りました。

栄養教諭を活用した食育の充実

新型コロナウイルス感染症の影響により、給食時間における食に関する指導を教室で直接行うことが困難な状況が続きました。児童生徒が給食時間を楽しみながら過ごせるよう学年に応じた内容の動画を作成しました。また、給食が生きた教材となるよう調理の様子をYouTubeでアップし、給食時間に学校で視聴し、活用できるようにしました。センターの機能と役割を多くの方に知ってもらえる機会にもなりました。



＜1年間の点検・評価の流れ＞

1学期

- 年度始学校園訪問
- 社会教育委員会、企画展

2学期

- 教職員研修会、要請訪問
- 特別展

3学期

- 年度末学校園訪問、ミニ企画展
- 自己評価、外部評価、令和4年度教育行政方針策定



重点4 図書館に親しむ機会の提供

季節の読み聞かせ会

図書館ボランティア等による、季節にちなんだ絵本や紙芝居の読み聞かせ会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策により、夏季には臨時休館、イベント(毎水・土曜日の読み聞かせ等)も自粛となっていました。季節の読み聞かせ会は、感染症対策を徹底したうえで、開催時期や実施方法を工夫して実施しました。季節毎の開催とし、春には屋外、秋と冬は集会室で行い、主に未就学児を対象としました。



重点5 生涯スポーツの推進

町民スポーツ大会の開催

町民の体力の向上と健康の保持増進を図り、町民が一体となり明るく豊かな町づくりを目的に、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して、少年軟式野球大会、ソフトテニス大会、町長杯少年サッカー大会、ゲートボール大会、剣道大会を開催しました。

